

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 江戸時代

名前

得点

/8

**問1** 江戸時代に河村瑞賢によって整備された航路のうち、出羽国の酒田を出発して日本海を西へ進み、下関を經由して瀬戸内海を通り、当時の経済の中心地であった大坂へと至る輸送ルートを何と呼びますか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)

1. 西まわり航路                      2. 東まわり航路                      3. 南まわり航路                      4. 北前船航路

**問2** 江戸幕府の土地支配に関する統計資料に基づく、幕府領（直轄地）が全国の総石高に占める割合は約24%でした。幕府がこの割合の石高でありながら、全国の諸大名に対して圧倒的な優位を保てた背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 大阪公立入試 類似)

1. 佐渡金山などの重要な鉱山や、江戸・大坂・長崎といった経済・貿易の要衝を直接支配したため。      2. 大名の領地からも、収穫された米の半分を幕府に納めさせる制度を全国一律で導入したため。      3. 全国の石高の約74%を占める大名の領地すべてを、数年ごとに強制的に入れ替える権利を行使したため。      4. 寺社領や公家領をすべて幕府の直轄地に統合し、宗教的・伝統的な権威を完全に排除したため。

**問3** 徳川吉宗による洋書の輸入制限の緩和は、のちの学問の発展に大きな影響を与えました。前野良沢や杉田玄白らが、長崎で入手したオランダ語の医学書を日本語に翻訳し、『解体新書』を出版したことによって確立された学問を何といいますか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)

1. 蘭学                                      2. 国学                                      3. 朱子学                                      4. 陽明学

**問4** 日本の世界文化遺産に関する説明として、江戸幕府を開いた徳川家康をまつために建てられた建造物はどれか。 (2019年 北海道公立入試 類似)

1. 中尊寺金色堂                      2. 平等院鳳凰堂                      3. 日光東照宮                      4. 厳島神社

**問5** 天保のききんから、1841年に天保の改革が始まるまでの間に起きた「大塩平八郎の乱」について述べた文として正しいものはどれか。 (2024年 岐阜公立入試 類似)

1. この反乱は、幕府の直轄地であり「天下の台所」と呼ばれた大坂で、元幕吏によって引き起こされた。      2. この反乱は、慶安の変とも呼ばれ、徳川家光の死後の不安定な社会情勢の中で計画された。      3. この反乱を鎮圧した幕府は、ただちにキリスト教禁止を徹底するため、島原・天草一揆への警戒を強めた。      4. この反乱の結果、幕府は全国の藩に対し、藩校を設置して身分を問わず人材を育成することを命じた。

**問6** 江戸時代の大坂が「天下の台所」として繁栄した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 島根公立入試 類似)

1. 諸大名が、参勤交代などで必要となる現金を調達するため、蔵屋敷に物資を集めて商人に売却したから。      2. 幕府が、江戸の食料不足を解消するために、全ての物資を一度大坂に集めるよう命令を出したから。      3. 鎖国体制下において、大坂が唯一の海外貿易の窓口として外国の特産物を独占的に扱ったから。      4. 将軍が住む江戸の人口が急増したため、大阪の特産物を全て幕府が買い上げて江戸へ送ったから。

**問7** 江戸時代の町人文化（化政文化）が栄えた時期に活躍した浮世絵師について述べた文です。富士山を各地から様々な角度で描いた「富嶽三十六景」などの風景画を確立し、後のヨーロッパの芸術家にも影響を与えた人物として正しいものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)

1. 葛飾北斎                                      2. 菱川師宣                                      3. 狩野永徳                                      4. 雪舟

**問8** 寛政の改革で行われた、旗本や御家人などの武士を経済的に救済するための政策について、その内容を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2014年 沖縄公立入試 類似)

1. 棄捐令（きえんれい）を出し、札差などの借金に苦しむ武士の債務を帳消しにさせた。      2. 株仲間を積極的に解散させることで物価を下げ、武士の生活コストを低減させた。      3. 専売制を導入し、地方の特産品を幕府が買い取ることで武士に手当を支給した。      4. 公事方御定書を制定し、武士と商人の間の金銭トラブルをすべて商人の負けとする裁判基準を作った。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 西まわり航路	山形県の酒田から下関を經由して大坂へと結ぶルートは「西まわり航路」と呼ばれます。この航路の整備によって、東北地方や北陸地方の年貢米や特産物が大量かつ効率的に大坂へ運ばれるようになり、大坂の蔵屋敷はそれらの物資が集まる「天下の台所」としてさらに繁栄することとなりました。
問2	<b>答え 1</b> 佐渡金山などの重要な鉱山や、江戸・大坂・長崎といった経済・貿易の要衝を直接支配したため。	幕府が直接支配する「幕府領」は石高で見ると全国の4分の1程度ですが、幕府は農業生産だけでなく、貨幣の鑄造権を独占し、金・銀などの主要な鉱山を支配していました。また、当時の経済の中心地である大坂や、海外貿易の窓口である長崎などの重要都市を直轄地として管理することで、全国に対する強力な経済的・政治的支配力を確立していました。
問3	<b>答え 1</b> 蘭学	吉宗が実用的な学問のために洋書の輸入を許可したことで、オランダ語を通じて西洋の科学技術を学ぶ「蘭学」が盛んになりました。前野良沢が長崎で購入したオランダ語の解剖書を、杉田玄白らとともに心血を注いで翻訳した成果が『解体新書』であり、日本の近代医学の先駆けとなりました。
問4	<b>答え 3</b> 日光東照宮	栃木県日光市に所在し、徳川家康を神としてまつる神社である。豪華絢爛な陽明門などが有名で、「日光の社寺」として世界文化遺産に登録されている。中尊寺金色堂は奥州藤原氏、平等院鳳凰堂は藤原頼通、厳島神社は平清盛にゆかりのある建造物である。
問5	<b>答え 1</b> この反乱は、幕府の直轄地であり「天下の台所」と呼ばれた大坂で、元幕吏によって引き起こされた。	大塩平八郎は大坂町奉行所の元与力（役人）であり、幕府の政治を支える側であった人物が反乱を起こしたという点が重要です。発生場所が当時の経済の中心地である大坂であったことも、幕府の権威を大きく揺るがす要因となりました。選択肢にある慶安の変（由比正雪の乱）は江戸時代前期の出来事であり、島原・天草一揆も17世紀の出来事です。
問6	<b>答え 1</b> 諸大名が、参勤交代などで必要となる現金を調達するため、蔵屋敷に物資を集めて商人に売却したから。	大名は参勤交代や領国経営のために多額の現金を必要としましたが、当時は年貢（米）が経済の基盤でした。そのため、物流の要所であった大阪に設置した蔵屋敷に米や特産物を集め、そこで活動する「札差」や「両替商」などの有力な商人を介して換金する必要がありました。この仕組みが全国的な物流ネットワークを形成し、大阪を商業の中心地に押し上げました。
問7	<b>答え 1</b> 葛飾北斎	江戸時代後期の町人文化では、浮世絵の分野において従来の美人画や役者絵に加え、風景画という新しいジャンルが確立されました。葛飾北斎は「富嶽三十六景」に見られるような、波や山を幾何学的に捉える大胆な構図や、鮮やかな色彩を多用しました。この斬新なスタイルは、19世紀後半のヨーロッパでゴッホやモネといった印象派の画家に多大な影響を与えたことで知られています。
問8	<b>答え 1</b> 棄捐令（きえんれい）を出し、札差などの借金に苦しむ武士の債務を帳消しにさせた。	当時、武士は給与である米を現金に換える際、札差（ふださし）と呼ばれる商人から借金を重ねて困窮していました。松平定信は、こうした武士の経済的苦境を救うため、6年以上前の借金を無効にするなどの「棄捐令」を発令しました。これにより一時的に武士は救われましたが、商人が貸し渋りを行うなどの副作用も生じました。

**問1** 江戸時代後半に老中となった田沼意次は、株仲間の公認や専売制の拡大といった商業重視の政策を推進し、幕府の財政再建を試みました。しかし、この政治体制は当時の民衆から激しい批判を受けることとなりました。その主な理由として最も適切なものはどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

1. 役人の中で賄賂（わいろ）が公然と行われるようになり、政治の公正さが失われたため
2. キリスト教の布教を全面的に認めたことで、伝統的な幕府の支配秩序が乱れたため
3. 農民に対して極端に厳しい検地を繰り返して、年貢の取り立てを大幅に強化したため
4. 長崎での貿易を完全に禁止し、国内の商業流通を停滞させてしまったため

**問2** 江戸時代中期、長崎での対外貿易において、日本から金や銀が大量に流出することを防ぐために、幕府は決済手段を貴金属から特定の品目へと切り替えました。このとき、長崎会所を通じて清（中国）へ輸出された、いりこ（ナマコを干したもの）や干しあわび、ふかひれなどの海産物の総称を何といいますか。（2017年 京都公立入試 類似）

1. 俵物
2. 蔵物
3. 問屋物
4. 諸国物

**問3** 江戸時代後期の天保の改革において、水野忠邦が「人返しの法」を発令した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。

（2016年 佐賀公立入試 類似）

1. 江戸に出稼ぎに来ていた農民を強制的に村に帰すことで、農村を復興させ、年貢収入の安定を図った。
2. 江戸の人口が急激に減少したため、都市の治安維持を目的として地方から労働者を呼び寄せた。
3. 新田開発を奨励し、年貢の徴収方法を検見法から定免法に改めることで、幕府の財政を立て直した。
4. 飢饉に備えて各地に「困米」を命じ、米を蓄えさせることで、農民の生活を直接的に保護しようとした。

**問4** 江戸幕府が実施した天保の改革において、水野忠邦が「株仲間の解散」を命じた主な目的と、その結果として生じた状況について述べたものとして、適切なものはどれか。（2023年 新潟県公立入試 類似）

1. 商人の独占による物価の上昇を抑えようとしたが、商品の流通が滞ってしまい、かえって経済が混乱した。
2. 農村から江戸へ流入した人々が故郷に帰すことで農業を再興し、年貢収入を安定させることに成功した。
3. 長崎での貿易を制限し、国内産の銅の流出を防ぐことで、貨幣制度の安定を図った。
4. キリスト教の取り締まりを強化し、幕府による思想統制を徹底することで、社会不安を取り除いた。

**問5** 江戸時代中期の老中、田沼意次が進めた政治の説明として、正しいものはどれですか。幕府の財政を立て直すために行った、商人の活動に関する方針に着目して選びなさい。（2014年 愛媛公立入試 類似）

1. 株仲間を積極的に奨励し、そこから運上金などの税を徴収することで幕府の収入を増やそうとした。
2. 株仲間を解散させることで商品の流通を自由にし、上がっていた物価を強制的に引き下げようとした。
3. 商人の組織を廃止して農村へ帰ることを促し、年貢（米）による収入を増やすことを最優先した。
4. 海外との貿易を完全に禁止し、国内の商人からのみ多額の献金を受け取ることで財政を支えた。

**問6** 江戸幕府が、全国の大名を統制するために城の無断修理や許可のない婚姻を禁じる目的で制定した法令と、朝廷や公家を監視するために京都に設置した役職の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 「武家諸法度」と「京都所司代」
2. 「御成敗式目」と「六波羅探題」
3. 「公事方御定書」と「町奉行」
4. 「武家諸法度」と「問注所」

**問7** 江戸時代の浮世絵師とその作品や特徴の組み合わせとして、歴史的事実と合致するものはどれですか。（2019年 大阪公立入試 類似）

1. 葛飾北斎は、幾何学的な構図を用いた『富嶽三十六景』を描き、西洋の芸術家にも影響を与えた。
2. 喜多川歌麿は、東海道の宿場町を情緒豊かに描いた『東海道五十三次』で人気を博した。
3. 狩野永徳は、江戸時代後期の庶民の姿を写実的に描いた浮世絵を数多く残した。
4. 歌川広重は、当時の人気歌舞伎役者をクローズアップして描いた大首絵を得意とした。

**問8** 秋田藩の鉱山で生産された銅が、わざわざ大阪を経由して長崎まで運ばれた理由として、当時の貿易制度と物流の仕組みの観点から最も適切な説明はどれですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）

1. 長崎が、清やオランダとの貿易が許可された唯一の窓口であったため。
2. 大阪に貨幣を鋳造する「銀座」が設置されており、全ての銅を貨幣に変える必要があったため。
3. 長崎は朝鮮との外交窓口であり、銅は朝鮮通信使への贈り物として扱われたため。
4. 大阪は全国の年貢米が集まる場所であり、銅を米と交換して輸出する仕組みだったため。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 役人の中で賄賂（わいろ）が公然と行われるようになり、政治の公正さが失われたため	田沼意次は、商人の経済力を利用して運上金や冥加金を取るなど、商業重視の政策で幕府の財政を潤そうとしました。しかし、利益を優先する姿勢が強まったことで、便宜を図ってもらおうとする商人らと役人の中で「賄賂（わいろ）」が横行するようになり、金銭が政治を左右する状況が生まれました。これが「汚れた政治」として、武士や民衆からの強い不満や批判を招く原因となりました。
問2	<b>答え 1</b> 俵物	江戸時代、長崎貿易による金・銀の海外流出が大きな経済課題となりました。これを受け幕府は、金銀の代わりに、当時の中華料理の食材として清で需要が高かった海産物を加工して輸出する仕組みを整えました。これらは藁の俵に詰められて輸送されたことから「俵物」と呼ばれます。長崎会所がこれを取りまとめ、対外貿易の独占と管理を行いました。
問3	<b>答え 1</b> 江戸に出稼ぎに来ていた農民を強制的に村に帰すことで、農村を復興させ、年貢収入の安定を図った。	天保の改革が行われた時期は、天保の飢饉などによって農村が荒廃し、多くの農民が職を求めて江戸へ流入していました。幕府の財政基盤は農民が納める年貢であったため、水野忠邦は農村の労働力を確保し、生産力を回復させることで、不安定になっていた年貢収入を再び安定させることを狙いました。松平定信が寛政の改革で行った「旧里帰農令」が帰郷を奨励するものであったのに対し、人返しの方は強制的に帰村させるという厳しい内容でした。
問4	<b>答え 1</b> 商人の独占による物価の上昇を抑えようとしたが、商品の流通が滞ってしまい、かえって経済が混乱した。	水野忠邦は、都市部での物価高騰を解消するために、流通を独占していた「株仲間」が価格を吊り上げていると考え、その解散を命じました。しかし、これによってこれまでの流通ルートが崩壊し、かえって物不足や経済の混乱を招く結果となりました。この政策は、人返し令による農村復興策や極端な倹約令とともに、民衆や武士からも強い不満を抱かれる原因となりました。
問5	<b>答え 1</b> 株仲間を積極的に奨励し、そこから運上金などの税を徴収することで幕府の収入を増やそうとした。	田沼意次は、それまでの年貢（米）に頼る財政から、商業の発展を利用した財政への転換を図りました。商人の同業者組織である株仲間を公認して独占的な営業権を与える代わりに、運上金や冥加金といった税を納めさせ、幕府の税収入を増やそうとしたのが特徴です。後の松平定信や水野忠邦が物価抑制のために株仲間の制限や解散を行ったことと比較して理解することが重要です。
問6	<b>答え 1</b> 「武家諸法度」と「京都所司代」	江戸幕府は1615年に大名を統制するための基本法として「武家諸法度」を定め、城の無断修理や許可のない大名同士の婚姻を厳しく制限しました。これと同時に、天皇や公家を監視し、京都の治安維持や西国大名の監視を行うための重要な役職として「京都所司代」を設置しました。選択肢にある六波羅探題は鎌倉時代に設置された役職であり、問注所は鎌倉時代の裁判機関を指します。
問7	<b>答え 1</b> 葛飾北斎は、幾何学的な構図を用いた『富嶽三十六景』を描き、西洋の芸術家にも影響を与えた。	葛飾北斎の作品は、遠近法や鮮やかなベネチアンブルー（ベロ藍）の使用、緻密かつ大胆な構図が特徴で、幕末から明治にかけて海外へ渡り、ゴッホなどの印象派の画家に大きな影響を与えました。なお、東海道五十三次は歌川広重、美人画は喜多川歌麿の代表的な仕事であり、狩野永徳は安土桃山時代に活躍した屏風画の絵師です。
問8	<b>答え 1</b> 長崎が、清やオランダとの貿易が許可された唯一の窓口であったため。	江戸幕府は対外貿易を厳格に管理しており、清（中国）やオランダとの取引は長崎の1港に限定されていました。そのため、全国各地の鉱山で採掘された銅は、当時「天下の台所」として物流の中心地であり精錬技術も発展していた大阪に一度集められ、そこから輸出港である長崎へと船で運ばれる体制が整えられていました。

問1 江戸時代の産業の結びつきについて述べた次の文のうち、当時の肥料の流通と農業の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 九十九里浜などで加工された干鰯が、綿花の栽培を支えるために近畿地方へ運ばれた。
2. 石包丁を用いた収穫効率の向上により、肥料を購入する必要がなくなった。
3. 産業革命による化学肥料の導入で、イワシを肥料として使う習慣が途絶えた。
4. 二毛作の普及により、山林から採取した堆肥だけで全ての肥料需要を賅った。

問2 江戸幕府の第3代将軍である徳川家光が「武家諸法度」を改定して制度化した、諸大名に対して1年おきに江戸と自らの領地を往復することを義務付けた制度は何か。（2022年 三重公立入試 類似）

1. 参勤交代
2. 禁中並公家諸法度
3. 鎖国令
4. 寄親・寄子制

問3 アメリカの第16代大統領リンカンに関連する記述として、最も適切なものはどれか。（2018年 北海道公立入試 類似）

1. ゲティスバーグで「人民の、人民による、人民のための政治」と演説した。
2. 独立戦争を指揮し、アメリカ合衆国の初代大統領となった。
3. 世界恐慌に対応するため、ニューディール政策を実施した。
4. 第一次世界大戦後のパリ講和会議で国際連盟の設立を提案した。

問4 江戸時代、幕府や藩が商工業者の組織である「株仲間」を公認する政策をとった主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 長崎公立入試 類似）

1. 特定の商人に営業の独占権を与える代わりに、運上金や冥加金などの税を徴収して収入を増やすため。
2. 商人の不正な取引を監視することで、物価の急激な上昇を防ぎ庶民の生活を安定させるため。
3. 商人に苗字帯刀を許可する代わりに、凶作の際に領民へ配るための米を供出させるため。
4. 外国との貿易を組織的に管理させ、キリスト教の流入を厳しく制限するため。

問5 江戸時代、杉田玄白らによって行われた『解体新書』の出版に関する説明として、当時の社会や学問に与えた影響をふまえた記述として最も適切なものを選びなさい。（2019年 福島県公立入試 類似）

1. オランダ語の医学書を日本語に翻訳して出版したことで、西洋の科学的な知識を学ぶ蘭学が本格的に普及するきっかけとなった。
2. キリスト教の布教を目的とした西洋の思想を日本語で紹介したため、幕府による禁教政策がさらに強化される原因となった。
3. 日本の古典を研究して日本独自の精神を明らかにしようとする国学の発展に大きく寄与し、尊王攘夷運動の理論的支柱となった。
4. 西洋の進んだ軍事技術を紹介する目的で出版されたため、幕府による全国的な海岸警備や軍制改革の実施を促すことになった。

問6 江戸時代の中期から後期にかけて、幕府の経済政策は時期によって大きく方針が異なりました。老中・田沼意次が進めた経済政策と、その後に松平定信が行った「寛政の改革」の背景や内容を説明した文として、適切なものはどれですか。（2022年 大分県公立入試 類似）

1. 田沼意次は商人による株仲間の結成を奨励して税を徴収しようとしたが、松平定信は朱子学を重んじて武士の規律を正し、農村の立て直しを優先した
2. 田沼意次は公事方御定書を定めて裁判制度を整えたが、松平定信は目安箱を設置して広く民衆の意見を取り入れることを重視した
3. 田沼意次は質素節約を徹底して幕府の支出を抑えようとしたが、松平定信は株仲間を積極的に活用して新田開発などの公共事業を推進した
4. 田沼意次は朱子学以外の講義を禁じて思想統制を強めたが、松平定信は外国との交易を広げるために株仲間を解散させた

問7 江戸時代の商業の中心地であった大阪の状況について、諸藩が設置した蔵屋敷に全国から年貢米や特産物が集まり、それらが再び全国へ送り出されていたことから、当時の大阪は何と呼ばれていましたか。（2024年 岡山公立入試 類似）

1. 天下の台所
2. 将軍のお膝元
3. 学問の都
4. 世界の工場

問8 江戸時代に急速に普及した教育機関である「寺子屋」が、当時の社会において果たした役割や特徴を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 武士の子弟を対象として、儒学や武芸などの専門的な知識を授けるための公的な教育機関であった。
2. 国ごとに設置され、律令制度を維持するための地方官吏を養成することを目的とした組織であった。
3. 都市や農村の庶民の子供を対象として、読み・書き・そろばんといった実益的な知識を教えた。
4. 寺院において僧侶が貴族の子弟を預かり、高度な仏教の教理や漢詩の作成を指導する私塾であった。

## 答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**  
**九十九里浜などで加工された干鰯が、綿花の栽培を支えるために近畿地方へ運ばれた。**
- 江戸時代の先進農業地域では、綿花などの商品作物を効率よく生産するために、質の高い肥料が求められました。そこで、現在の千葉県にあたる九十九里浜などの漁場で大量に獲れたイワシを干鰯に加工し、それが都市の商人を経由して農村へ流通するという、漁業と農業の広域的な結びつきが生まれました。
- 問2** **答え 1**  
**参勤交代**
- 徳川家光は、武家諸法度の寛永令において参勤交代を明文化した。大名に江戸と領地を定期的に往復させ、さらに妻子を人質として江戸の屋敷に住ませることで、幕府に対する服従を誓わせる幕藩体制の重要な柱となった。
- 問3** **答え 1**  
**ゲティスバーグで「人民の、人民による、人民のための政治」と演説した。**
- リンカンは南北戦争を指導し、国の統一維持と奴隷制の廃止に努めた。「独立戦争」はワシントン、「ニューディール政策」はフランクリン・ルーズベルト、「国際連盟の設立」はウィルソンに関する記述である。
- 問4** **答え 1**  
**特定の商人に営業の独占権を与える代わりに、運上金や冥加金などの税を徴収して収入を増やすため。**
- 幕府や藩は、商工業者に「株仲間」という同業者組織を作らせて営業の独占権（株）を認める見返りとして、運上金や冥加金と呼ばれる税を徴収しました。これにより、年貢以外の新たな財政収入を確保することが可能となりました。田沼意次の時代には、この仕組みを積極的に活用して幕府の財政難を解消しようと試みられました。一方で、独占による物価上昇などの副作用も生じました。
- 問5** **答え 1**  
**オランダ語の医学書を日本語に翻訳して出版したことで、西洋の科学的な知識を学ぶ蘭学が本格的に普及するきっかけとなった。**
- 『解体新書』の翻訳作業は、当時の不十分な語学力の中で筆舌に尽くしがたい苦勞を伴うものでしたが、その完成によって西洋の合理的な学問体系が日本に導入されました。これにより、医学のみならず、天文学、物理学、化学といった幅広い分野で西洋の知識を吸収しようとする蘭学が江戸時代後期の重要な学問へと成長しました。
- 問6** **答え 1**  
**田沼意次は商人による株仲間の結成を奨励して税を徴収しようとしたが、松平定信は朱子学を重んじて武士の規律を正し、農村の立て直しを優先した**
- 田沼意次は、商人の独占的営業を認める「株仲間」を積極的に公認し、そこから得られる運上金や冥加金によって幕府財政の改善を図るという、商業を重視した政策をとりました。これに対し、松平定信は田沼時代の賄賂政治や派手な風潮を批判し、伝統的な儒教（朱子学）の教えを軸にして武士の綱紀粛正を行い、疲弊した農村を復興させる保守的な改革（寛政の改革）を進めました。
- 問7** **答え 1**  
**天下の台所**
- 諸藩の蔵屋敷が集中した大阪には、全国各地の物資が集積されました。この圧倒的な物資の集散機能と市場としての重要性から、大阪は日本の食糧や経済を支える中心地という意味を込めて「天下の台所」と称されました。
- 問8** **答え 3**  
**都市や農村の庶民の子供を対象として、読み・書き・そろばんといった実益的な知識を教えた。**
- 江戸時代、商業の発達や農業技術の向上に伴い、文字の読み書きや計算能力が日常生活や仕事に不可欠となりました。そのため、町人や農民といった庶民によって「寺子屋」が全国に開かれ、実用的な教育が普及しました。この教育の広がりが、当時の日本の極めて高い識字率を支える要因となりました。なお、武士を対象とした教育は、各藩が設置した「藩校（弘道館など）」が担っていました。

問1 伊能忠敬が17年の歳月をかけて全国の海岸線や北方地域を調査し、実測に基づいて作成した、日本初と言える精密な地図の名称として正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 大日本沿海輿地全図 2. 坤輿万国全図 3. 海国図志 4. 天下図

問2 室町時代から江戸時代にかけての文化の担い手や特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 慈照寺の銀閣に代表される文化は、禅宗の影響を受けて簡素で気品ある特色を持ち、後の日本人の生活様式の源流となった。  
2. 姫路城のような壮大な城郭建築は、鎖国によって海外との交流が断絶したため、純和風の技術のみで江戸時代末期に完成した。  
3. 見返り美人図に代表される浮世絵は、公家や僧侶が日常の礼儀作法を学ぶための手本として、室町時代に広く普及した。  
4. 慈照寺の銀閣、姫路城、見返り美人図は、すべて足利将軍家が文化の振興を目的に国費を投じて製作させたものである。

問3 18世紀前半、江戸幕府の第8代将軍である徳川吉宗が享保の改革において制定した、裁判や刑罰の基準となる法典の名称を次の中から選びなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 御成敗式目 2. 武家諸法度 3. 公事方御定書 4. 五箇条の御誓文

問4 江戸時代に作成された、現代の地図と比較しても海岸線の形状が遜色ないほど正確に描かれた『大日本沿海輿地全図』の作成方法とその特徴について、正しい説明を選んでください。（2023年 富山公立入試 類似）

1. 伊能忠敬が実際に日本全国を歩き、歩幅による距離測定や天体観測などの測量技術を駆使して作成した。  
2. シーボルトなどの外国人が持ち込んだ最新の測量器具を用い、幕府の役人が短期間で全国を回って完成させた。  
3. 各地の諸藩が提出した絵図を幕府が整理・統合し、想像で海岸線の輪郭を補うことで作成された。  
4. 空から見下ろしたような視点を再現するため、熱気球を利用した測量によって広範囲の地形を一度に記録した。

問5 近世の歴史の流れにおいて、江戸幕府は当初ヨーロッパとの貿易を認めていましたが、次第に貿易統制を強め、キリスト教の禁止を徹底する方針へと転換しました。幕府がこのような方針をとった理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 岡山公立入試 類似）

1. 貿易の利益を幕府が独占するとともに、キリスト教の教えが幕府の支配体制を揺るがすことを恐れたため  
2. キリスト教を国教として採用するために、国内の仏教勢力を抑え込んで貿易を円滑に進めるため  
3. ヨーロッパ諸国との外交関係を完全に断絶し、自給自足の経済を確立して鎖国を完成させるため  
4. 幕府の権威を高めるため、キリスト教の教えを政治の基本方針に取り入れようとしたため

問6 18世紀後半の江戸幕府において、商工業者の同業者組織である「株仲間」を積極的に公認し、彼らから徴収する税によって幕府財政の立て直しを試みた老中は誰ですか。（2017年 岐阜公立入試 類似）

1. 田沼意次 2. 松平定信 3. 水野忠邦 4. 徳川吉宗

問7 江戸幕府がポルトガル船の来航を禁止したあとも、長崎での貿易を継続することを認めた相手の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 埼玉公立入試 類似）

1. オランダと中国（清） 2. イギリスとスペイン 3. アメリカとロシア 4. 朝鮮と琉球

問8 中世に結成された「座」や、江戸時代に発展した「株仲間」は、いずれも当時の権力者と結びつくことで活動を維持していました。これらの組織に共通する仕組みとして正しい説明を選んでください。（2024年 岡山公立入試 類似）

1. 権力者に対して税を納める代わりに、特定の業種における営業上の独占的な特権を認められた。  
2. 自由な経済活動を促進するため、権力者の許可を得ずに市場での価格競争を自由に行った。  
3. 海外との貿易を円滑にするため、幕府から直接資金援助を受けて運営された国立の組織である。  
4. 農村の家内工業を保護するため、問屋が生産者に道具や原料を貸し出す仕組みを管理した。

問9 江戸幕府が初期に行っていた外交政策に関する説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この政策においては、幕府から許可を受けた者が収入の一部を納める仕組みも存在していました。（2024年 富山公立入試 類似）

1. 幕府が大名や豪商に海外渡航を許可する証書を与え、東南アジア諸国との貿易を奨励した。  
2. 明との貿易において、正式な貿易船と海賊（倭寇）を区別するために、勘合と呼ばれる割印の札を用いた。  
3. 長崎の出島にオランダ商館を設置し、中国やオランダとの貿易を幕府が独占的に管理した。  
4. 豊臣秀吉がキリスト教の布教を制限するためにバテレン追放令を出し、ヨーロッパとの交流を厳格に制限した。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>大日本沿海輿地全図</b>	伊能忠敬が中心となって作成した地図は『大日本沿海輿地全図』と呼ばれます。それまでの地図が想像や古い資料に基づいたものであったのに対し、天体観測と歩幅などを用いた実測によって作られた点が画期的でした。この地図の完成により、日本の正確な姿が初めて明らかになりました。
問2	<b>答え 1</b> <b>慈照寺の銀閣に代表される文化は、禅宗の影響を受けて簡素で気品ある特色を持ち、後の日本人の生活様式の源流となった。</b>	室町時代の東山文化では、書院造や茶の湯、生け花など、現代の和風生活につながる文化が、禅宗の精神を背景として武士や公家の間に広まりました。姫路城は桃山文化の特色である豪華さを持ち、安土桃山時代から江戸初期にかけて整備されたものです。見返り美人図は江戸時代の町人文化から生まれた作品であり、公家や僧侶のためのものではありません。また、これらの文化財は時代ごとの担い手（将軍、戦国大名、町人）が異なるため、すべてが将軍家によるものではありません。
問3	<b>答え 3</b> <b>公事方御定書</b>	徳川吉宗は、それまで各奉行の裁量に任されていた部分が大きかった裁判や刑罰に明確な基準を設けるため、この法典を整備しました。これにより、裁判の迅速化と公正化が図られるようになりました。
問4	<b>答え 1</b> <b>伊能忠敬が実際に日本全国を歩き、歩幅による距離測定や天体観測などの測量技術を駆使して作成した。</b>	伊能忠敬は55歳から測量を始め、約17年間かけて全国を歩いて測量を行いました。一步の長さを一定に保つ歩測や、方位を測る器具、天体観測による緯度の測定などを組み合わせることで、当時の水準をはるかに超える正確な実測図を完成させました。この地図は、その精巧さゆえに幕府によって「禁制品」として厳重に管理されていましたが、幕末には国防や外交において重要な役割を果たすことになりました。
問5	<b>答え 1</b> <b>貿易の利益を幕府が独占するとともに、キリスト教の教えが幕府の支配体制を揺るがすことを恐れたため</b>	江戸幕府は、西国の大名が貿易によって経済的・軍事的に強大化することを警戒しました。また、キリスト教の「神の前では平等である」という教えや、信仰のために領主への忠誠を拒む可能性が、封建的な主従関係に基づく幕府の支配にとって脅威になると判断したことが背景にあります。
問6	<b>答え 1</b> <b>田沼意次</b>	江戸時代中期の幕政を主導したこの人物は、従来の農業依存の財政から脱却し、貨幣経済の発展を背景とした商業重視の政策を展開しました。株仲間の結成を奨励して独占的な営業権を与える代わりに、運上（うんじょう）や冥加（みょうが）といった税を徴収したほか、長崎貿易での輸出拡大や印旛沼の干拓など、先駆的な政策を次々と打ち出しました。
問7	<b>答え 1</b> <b>オランダと中国（清）</b>	ポルトガル船を排除したあとも、幕府はすべての海外貿易を止めたわけではありませんでした。キリスト教の布教を行わないことを条件にオランダとの取引を継続し、また正式な国交はなかったものの、中国（清）との民間貿易も長崎で行わせました。オランダ人は出島に、中国人はのちに設置された唐人屋敷に居住が制限されました。
問8	<b>答え 1</b> <b>権力者に対して税を納める代わりに、特定の業種における営業上の独占的な特権を認められた。</b>	中世の座は貴族や寺社などの権門に対して、近世の株仲間は幕府や藩に対して、それぞれ税（運上や冥加）を納める構造になっていました。その対価として、非組織員の営業を排除する「独占権」を保証されるという、権力者と商工業者の双方向の利益関係に基づいた仕組みがとられていました。
問9	<b>答え 1</b> <b>幕府が大名や豪商に海外渡航を許可する証書を与え、東南アジア諸国との貿易を奨励した。</b>	徳川家康による朱印船貿易は、特定の有力な大名や豪商に特権的な貿易の権利を与えるものでした。これにより、幕府は海外情報を収集し、貿易を通じて国内経済の安定を図る目的がありました。選択肢にある勘合を用いた貿易は室町時代の仕組みであり、出島での管理は後の「鎖国」体制下での出来事です。

問1 寛政の改革において、幕府が聖堂学問所（昌平坂学問所）での講義を朱子学のみ限定し、それ以外の学問を禁じた理由として、最も適切なものはどれか。（2016年 大阪公立入試 類似）

- 幕府の支配体制を維持・安定させるため、武士の思想を統一しようとしたから。
- キリスト教の教えが広まるのを防ぎ、鎖国体制をより厳格にするため。
- 新しい西洋の知識を取り入れるために、蘭学を学ぶ時間を確保しようとしたから。
- 商業を重んじる思想を広め、幕府の財政難を商人の力で解決しようとしたから。

問2 アメリカ独立宣言において、すべての人間が平等に持ち、政府によっても侵害されないものとして記されている権利の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 大阪公立入試 類似）

- 生命、自由、および幸福追求の権利
- 労働権、団結権、および団体交渉権
- 生存権、教育を受ける権利、および参政権
- 信教の自由、表現の自由、および財産権の不可侵

問3 江戸時代後期の文化である化政文化を代表する人物について述べた文として、浮世絵の技法を用いて、東海道の宿場町などの様子を情緒豊かに描いた風景画を確立させた人物は誰ですか。（2023年 静岡公立入試 類似）

- 歌川広重
- 井原西鶴
- 出雲の阿国
- 兼好法師

問4 伊能忠敬が作成した「大日本沿海輿地全図」が、それまでの地図と比べて飛躍的に正確であった理由として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 岡山公立入試 類似）

- 天体観測と実地での測量を組み合わせ、科学的な手法で作成されたから
- オランダから輸入された最新の世界地図をそのまま模写したから
- 各地の諸大名から提出された、それぞれの領地の絵図を繋ぎ合わせたから
- 幕府が保有していた古い古文書の記録を整理してまとめたから

問5 三代将軍徳川家光によって制度化された「参勤交代」は、幕府が諸大名を統制する上で大きな効果を発揮しました。この制度が大名の反乱を防ぐために果たした役割について、その仕組みと経済的な背景を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2022年 新潟県公立入試 類似）

- 大名に多額の旅費や江戸での滞在費を負担させることで、幕府に反抗するための軍備を整える経済的余裕を奪った。
- 大名が領地の特産品を江戸で販売することを義務づけ、その利益を幕府が徴収することで財政基盤を強化した。
- 大名が一年ごとに領地を離れることで、現地の武士や農民との結びつきを強めさせ、幕府への忠誠を誓わせた。
- 大名の妻子を江戸に住まわせることで、大名が海外の勢力と結びついて密貿易を行うことを防いだ。

問6 江戸時代の政治の流れにおいて、徳川綱吉、田沼意次、井伊直弼の各人物が行ったとされる出来事の組み合わせとして正しいものを選択してください。（2022年 静岡公立入試 類似）

- 徳川綱吉が極端な動物愛護を命じる法令を出し、井伊直弼が反対勢力を厳しく処罰する安政の大獄を行った。
- 徳川綱吉が重商主義政策によって蝦夷地の開発を計画し、田沼意次が安政の大獄を指揮した。
- 田沼意次が生類憐みの令を廃止して幕政を安定させ、井伊直弼が寛政の改革を主導した。
- 徳川綱吉が財政再建のために株仲間を解散させ、井伊直弼が長崎での貿易を制限した。

問7 江戸時代の民衆統制において、近隣の数軒を一つの組に編成し、キリシタンの摘発や犯罪の防止、年貢の納入に責任を持たせた制度の名称として正しいものはどれですか。（2026年 富山公立入試 類似）

- 五人組
- 隣組
- 惣村
- 座

問8 徳川吉宗が行った享保の改革において導入された「上米の制」の仕組みについて、大名に米を納めさせる際の見返りとして提示された具体的な内容はどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）

- 参勤交代において江戸に滞在する期間を半年に短縮した
- 領地内での年貢率を大名の裁量で自由に決定することを認めた
- 幕府が独占していた長崎での貿易の利益を一部分配した
- 江戸の町人に貸し付けていた公金の利子を帳消しにした

問9 江戸幕府が確立した統制制度により、大名は一年おきに領地と江戸を往復することとなりました。この制度の名称と、その影響で五街道などの沿道に発達した拠点の組み合わせとして、正しいものはどれですか。（2026年 岡山公立入試 類似）

- 参勤交代と宿場
- 享保の改革と奉行所
- 国分寺の建立と門前町
- 検地と城下町

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 幕府の支配体制を維持・安定させるため、武士の思想を統一しようとしたから。	この政策は「寛政異学の禁」と呼ばれます。封建的な上下関係を重んじる朱子学を正学（公式の学問）とすることで、幕臣や陪臣の思想的な動揺を抑え、幕府への忠誠心を高める狙いがありました。
問2	<b>答え 1</b> 生命、自由、および幸福追求の権利	アメリカ独立宣言の起草者であるジェファソンらは、人間が生まれながらにして持つ普遍的な権利として「生命、自由、および幸福の追求」を掲げました。これらは当時の啓蒙思想に基づいて文化や国を問わず認められるべき「天賦人權（自然権）」として定義されており、後の近代民主主義の基本原則となりました。
問3	<b>答え 1</b> 歌川広重	歌川広重は、19世紀初頭の化政文化の時期に活躍した浮世絵師です。代表作である『東海道五十三次』などのシリーズを通して、各地の風景や庶民の旅の様子を描き、葛飾北斎とともに浮世絵における風景画のジャンルを確立しました。井原西鶴は元禄文化の浮世草子作家、出雲の阿国は安土桃山時代の歌舞伎踊りの創始者、兼好法師は鎌倉・南北朝時代の随筆家であり、活躍した時代や分野が異なります。
問4	<b>答え 1</b> 天体観測と実地での測量を組み合わせ、科学的な手法で作成されたから	伊能忠敬は、単に歩いて距離を測るだけでなく、天体観測を行うことで緯度を確認するなど、当時の最新の科学技術を測量に取り入れました。このように実地での調査と数学的な計算を組み合わせたことが、現代の地図と重ね合わせても遜色ないほどの正確さにつながりました。
問5	<b>答え 1</b> 大名に多額の旅費や江戸での滞在費を負担させることで、幕府に反抗するための軍備を整える経済的余裕を奪った。	参勤交代では、領地から江戸までの大規模な大名行列を伴う移動に莫大な費用がかかり、さらに江戸の屋敷での生活維持費も大名側の負担でした。これにより諸大名の財政は圧迫され、幕府に対して武力で対抗する力を蓄えさせないという政治的な狙いがありました。あわせて妻子を江戸に住ませる「人質」の仕組みが、幕藩体制の安定に寄与しました。
問6	<b>答え 1</b> 徳川綱吉が極端な動物愛護を命じる法令を出し、井伊直弼が反対勢力を厳しく処罰する安政の大獄を行った。	5代将軍の徳川綱吉は、生き物を大切にするという名目で「生類憐みの令」を出し、民衆を混乱させました。その後、江戸中期に田沼意次が商業重視の政策を進めましたが、幕末になると大老の井伊直弼が、日米修好通商条約の締結に反対する大名や志士らを厳しく弾圧する「安政の大獄」を引き起こしました。このように江戸時代は、その時期の課題に応じて政治の性格が大きく変化しています。
問7	<b>答え 1</b> 五人組	江戸幕府が民衆を監視・統制するために設けた制度は「五人組」です。他の選択肢について、「隣組」は第二次世界大戦中の住民組織、「惣村」は室町時代の農民による自治組織、「座」は平安時代から室町時代にかけての商工業者による独占的な組合を指します。五人組は、単なる近所付き合いの組織ではなく、幕府の支配を維持するための重要な連帯責任の制度でした。
問8	<b>答え 1</b> 参勤交代において江戸に滞在する期間を半年に短縮した	幕府は深刻な財政難を改善するため、大名から石高に応じた米を徴収する代わりに、それまで「1年」と定められていた参勤交代の江戸滞在期間を「半年」に短縮しました。これにより大名の経済的負担を減らす交換条件を提示し、反発を抑えつつ幕府の米の備蓄を増やそうとしました。これは武士の権威に関わる参勤交代を緩和してでも、金銭的な問題を優先せざるを得なかった当時の状況を示しています。
問9	<b>答え 1</b> 参勤交代と宿場	江戸幕府は、大名の経済力を削り、謀反を防ぐための統制策として参勤交代を制度化しました。この制度によって、大名とその家臣団が定期的に領地と江戸の間で大規模に移動するようになったため、道中の拠点となる五街道などの交通網が整備され、休憩や宿泊のための施設が並ぶ宿場が各地で発達しました。